

## 【子育てと農業の両立】

夫の孝雄さんと義父の清一さん、息子の雄斗さん、娘の恵美さんの5人で約20畝の農地にタマネギを栽培しています。母の実家が農家で幼い頃から農作業の手伝いをしていたので、結婚してから農業に携わることに不安はなく、就農してからは6人の子どもの子育てと農作業の奮闘の日々が始まりました。

現在は、女性部栗沢支部の支部長を務め、講習会や研修を通じて支部員同士の交流を図り、女性部栗沢支部を盛り上げようと日々努めています。



女性部栗沢支部の活動で作った笹団子を持つ安代さん

農業に  
懸ける  
情熱



### 「家族で農業を楽しむ」

「結婚してすぐに農業に携わる日々が始まりました。私の母の実家もタマネギ農家で、ゴールデンウィークや夏休みなどの長期休暇によく手伝いをしていたことから、栽培の主な流れなどはある程度理解していました。農家に嫁ぐことに対して特に抵抗もなかったのですが、すんなりと農作業に取り組むことができたのが、子どもたちが生まれてからは子育てと農業の両立に苦労しました。農作業が終わると食事の準備をして、洗濯をして、休む暇もなく毎日が過ぎていき、午前0時前に布団に入れる日はほとんどありませんでした」と当時のことを話してくれた安代さん。

農作業をしていくなかで、トラクターを運転する安代さんは、なかなか真つすぐに走ることができなくて苦労していました。省力化を目的にGPSを搭載したトラクターを導入したことにより作業効率が格段に向上しました。「ボタン一つでトラクターは真つすぐ走ってくれるので、女性でも簡単に作業を進められるようになりました。今後さらにスマート農業が普及していくことで、女性農業者も積極的に農作業に取り組むことができると思います」と話してくれました。

最後に「今は大きくなった息子と娘と一緒に農業ができることに幸せを感じています。いつまでも楽しく家族で農業ができるように、まずは健康を第一に考え、元気に農業を楽しんでいくことが目標です」と農業に懸ける情熱を話してくれました。

岩見沢市栗沢町栗部

あ さ や ま や す よ  
朝山 安代さん